

—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

月刊

ポケットあわじ

島の中の“島”



VOL.240

もくじ

P1 成ヶ島 P2 沼島 P3 福良湾の三つの島・ハモグルメ P4 絵島・大和島 P5 野島と富島・シェアホースアイランド
P6 淡路文化会館・淡路県民局からのお知らせ・淡路島くにうみ協会からのお知らせ P7.8 淡路の文化活動・イベント情報



成ヶ島

写真提供/神子素 孝輝さん



成ヶ島の北端



成ヶ島の南端



淡路橋立

洲本市の島といえば「成ヶ島（なるがしま）」が思い浮かびます。この島は洲本市由良地区の東側に浮かんでいる、南北に細長い島です。南北が約2.7Kmで、日本三景の「天橋立」に似ていることから「淡路橋立」とも呼ばれています。この成ヶ島の元々是由良地区と陸続きで、江戸時代にまず北側（現在の新川口）を掘り開く大工事が行われました。その後南側（現在の今川口）にも水路を開く工事が行われ、現在の成ヶ島ができました。島は瀬戸内海国立公園の一部に含まれ、ハマボウやハマツナ、ハクセンシオマネキなど貴重な動植物が生息し、アカウミガメが産卵するなど自然が多く残っています。また「成ヶ島を美しくする会」が中心となって、定期的に流れ着いたゴミなどを清掃しています。

成ヶ島は現在無人島ですが、洲本市役所由良支所近くから渡船が運航されています。この渡船を利用して島へ渡ることができます。ぜひこの自然いっぱいの成ヶ島を訪れてみませんか。

(応援隊：田処 孝久)

※ 成ヶ島渡船事務所 (TEL) 0799-27-0691 (渡船は運休日があります。)



成ヶ島地図

【成ヶ島に関する問い合わせ先】
洲本市商工観光課
TEL 0799-22-3321 または
0799-24-7613 (直通)



沼島は南あわじ市灘の沖合4.6キロに位置する離島です。はるか昔、神々が作り出した最初の島「おのころ島」という伝説の島です。過去にはTBSのお見合い番組「沼島の春」シリーズで有名になり、最近ではNHKの「ブラタモリ淡路島編」でさらに有名に。放送の前後では観光客は2倍ほどにも多くなったそうです。江戸末期には「沼島千軒金の島」といわれるほど漁業、海商を中心に栄え、昭和30年頃は人口2500人、戸数700戸もあった沼島。令和の現在では人口400人、世帯数205戸と以前とは変わりましたが、それでも沼島の魚は全国的に有名です。鱧、鯛、アジなどが、一本釣りや延縄漁（はえなわりょう）、底引き網漁など多様な漁法で水揚げされています。特に沼島の鱧は最高級品です。

白玉の形をした国生み神話ゆかりの島

沼島



沼島汽船発着場から歩いて5分の志満丸水産で、その水揚げの様子を見せてもらいました。漁を終えた漁船が次々と岸壁に着き、捕ってきた魚が船の水槽から陸へ移され、すぐさま大小選別され計量されます。その間ほんの数分。この日はハマチやサバ、伊勢エビ、イカなどが次々に水揚げされていました。漁師さんは御年80才を超えて見事です。こうして揚がった魚介はほとんどが東京、大阪へと出荷され、地元ではお目にかかることも食することもありません。なぜなら地元のスーパーなどでは見る事もない大きく立派なサバ。伊勢エビの一箱の価格を聞いてびっくり!!。手の出ない程高価でした。沼島で伊勢エビが捕れることにもびっくり!!東京築地で非常に人気のあるのは一本釣りの「ぬしまアジ」。そして夏に向かって鱧漁が盛んになります。



一日約1トンの漁獲量を誇る志満丸水産



沼島7ランドの魚は格別おいしいねんでー



島津 泰典さん

沼島漁業協同組合では、沼島で水揚げされた新鮮な魚を干物にして販売しています。カマス（ひらき）、小アジ（丸干し）、カレイ、さよりetc 電話での注文もできます。

志満丸水産 TEL 0799-57-0645 沼島漁業協同組 TEL 0799-57-0246

はもどうちゅう 鱧道中



はも ~ 上等な沼島の鱧 ~

鱧=ハモ ウナギの仲間ですが、ウナギとは違い、口は目の後ろまで裂け、顎には犬歯のような歯が並びます。見るからに獷猛（どうもう）ですが、味は白身で淡泊。栄養価も高く、コンドロイチンやビタミンAも含む美容食です。市場で高い評価を受ける淡路島のハモ。淡路島は三百年前からずっとハモの本場ですが、沼島のハモは丸々と身が太り、小顔。延縄漁（はえなわりょう）で一匹ずつ丁寧に釣り上げるために傷が少ない。それらのことから「べっぴん鱧」と呼ばれることも。今回はシーズンを迎えた沼島のハモと、「はも道中」取材しました。



はえ縄の仕掛け



写真提供/南あわじ市

淡路島からはも道中

令和4年 7月5日 洲本八幡神社で出立式
7月6日 鱧道中

祇園祭（京都）の時期にハモがよく食されるため、祇園祭は別名「はも祭り」とも呼ばれます。また、淡路島が朝廷に水産物を献上する御食国（みけくに）としてハモを納めていた事にちなみ、淡路島観光協会や洲本温泉観光旅館連盟「女将の会」などが島の観光をPRするため、2009年から毎年七月に行っている行事です。洲本市の洲本八幡神社で出立式をし、木桶（きおけ）に入れられたハモが八坂神社を目指します。

平安時代をイメージした狩衣姿（かりぎぬすがた）の一行がハモの入った竹かごをかつぎ、「淡路島からはも道中」と口上を述べながら練り歩きます。そして淡路島の玉ねぎやそうめんと共に八坂神社に奉納されます。

2022年は新型コロナウイルス感染防止のため、鱧の振る舞いは中止ですが、八坂神社～花見小路間の練り歩きや淡路人形浄瑠璃の奉納公演は実施されるそうです。

（応援隊：村上 紀代美、坂本 厚子、川原 雅代）





～ 福良湾 三つの島と源平合戦 ～

・ハモグルメ



煙島

けむり しま

【煙島】福良湾口にある一孤島です。一の谷の戦いで源氏の武将・熊谷直実(くまがいなおざね)に斬られた平敦盛(たいらのあつもり)の首を父の経盛(つねもり)が密かに茶毘に付したと云われています。その時煙がいつまでも絶えることが無かったので、煙島と呼ばれるようになったと伝えられています。島の入口の鳥居が船から見えます。そこから急峻な階段を上ると、頂上部に厳島神社・敦盛塚・経塚があります。「禁足地」となっています。敦盛の命日に合わせて淡路人形座では、2013年から熊谷と敦盛の一騎打ちのクライマックス場面の公演を行うと同時に、供養と公演の成功を祈って神事を行っています。

つる しま
【鶴島】現在の国民休暇村南淡路の一带を言います。島ではなく陸続きになっています。源氏の武士が城を構えていたとされ、弓や弦を意識して弦島城と呼んでいました。城主は源義久(みなものよしひさ)。1182年、平氏に抵抗して挙兵しますが、平経教(たいらのつねのり)が勝利します。戦いの激しさを何う「射切岩(いきりいわ)」があります。



鶴島



大園島

おおのしま

【大園島】福良湾の入口に浮かぶ島。一の谷の戦いで敗れた平氏が安徳天皇を奉じて屋島に落ちていくとき、潮流が激しい鳴門海峡を越えるための潮待ちをした行在所とされています。天皇が休まれた園ということから「大園島」と名付けられたと言われています。(立ち入りできません)

三つの島だけでなく淡路島内には、平氏・源氏に縁のお寺や墓地をはじめとする地域があります。歴史好きの方にはたまらない魅力ですね。

(応援隊:米田 静子)



湯引き

梅肉で爽やか～



ふあっふあ!

天ぷら



鱧の天ぷらとたたき定食

ハモ出汁の味噌汁



たたき

沼島と聞くとこれからの季節、真っ先に頭に思い浮かぶのが高級料理の鱧です。そこで今回は美味しい海の幸を求めて沼島の民宿「お食事処あさやま」さんへ行ってきました。毎日漁師の御主人の保さんと息子さんが漁で捕ってきたお魚を、保さんが料理してくれます。奥さんの光子さんにメニューを見ながらお薦めの料理を聞きましたが、あれも食べたい、これも食べたいと楽しくなり、腹ペコトリオのチョイスは鱧の天ぷら定食を基本に鱧の湯引き、鱧のたたき、アジフライを追加しました。テーブルに並んだ料理を見ると、流石漁師さんに選ばれた魚たち、身の厚くてきれいなこと。熱々の鱧の天ぷらは身が厚くてふあっふあ。ひと口でほうばって幸せを噛みしめました。鱧の湯引きもクルンと白くてキレイ、そこに赤い梅肉をちょこんと付けるとまるでお花が咲いたよう。シャッキと冷えて皮の歯ごたえがいい夏のジメジメが吹っ飛びます。鱧のたたきはスダチを絞ってお醤油で、爽やかでスキッと、アジフライも身がふっくらして美味しいー。沼島のひじきもしっかりとして美味しいー。鱧の骨で出汁とった味噌汁も玉ねぎとの相性最高。沼島の味堪能させていただきました。

(応援隊:坂本 厚子、村上 紀代美、川原 雅代)



アジフライ

「鱧すき」今昔



少し前までハモの骨は堅く多く(約3500本)、素人にはさばききれず釣れても捨ててしまうほどだったとか。かつては沼島の各家庭の独自の味で「鱧すき」として食されていたそうです。「鱧すき」を広く広めようと地元老舗旅館で始まったのが「元祖はも料理」。調理器具を工夫し、皮一枚を残す骨きりを生み出し、出汁を工夫し～そして一番合う食材が採れたたの玉ねぎとなり、現在の沼島の鱧すきに至ったそうです。沼島の鱧と淡路の玉ねぎのマッチングは絶妙です。



淡路島の北の玄関、岩屋ポートパーク前にそびえ立つ島「絵島」。その頂上には、道行く人の目に留まる鳥居と、古い宝篋印塔(ほうきょういんとう)が祀られています。これにはとても悲しい伝承物語が秘められています。



千鳥なく 絵島の浦に 澄む月を、
波にうつして 見る今宵かな
西行法師 (山家集)



絵島



月の名所をもっと多くの人に知ってもらおうと、毎年中秋の名月の夕べ、「絵島の月を愛でる会」が催されてきました。

仁安元年平清盛が兵庫築港の際、何回築いても港がすぐに流されてしまい、もう「人柱」を捧げる以外に方法がないと考え、生田の森に閘所を作り、そこを通る人々を、腕まくりをした役人達が情け容赦なく捕らえては、急ごしらえの牢に入れていった。「どんどん」戸を叩いて大声で泣き叫ぶ人たちで、森は割れそうな騒ぎになったようである。この泣き声に心を痛めたのは、清盛の小姓「松王丸」であった。年は十七歳、幼いころから香川にいる親元を離れ、強い武士になって父の跡継ぎにと清盛に預けられていた。松王丸は心優しい思いやりのある子で、清盛は目の中に入れても痛くないという可愛がりようだった。

松王丸は、牢の中で助かりたい一心の人々の心情に耐えられず、「わたしは人柱になります。牢の人を助けたいんです。」と、牢の人全部を家へ帰すよう、清盛に一心にお願いした。松王丸の決心は堅くどうするすべもなかった。その日の朝、白装束に経石を抱いた松王丸は、満足気に顔に笑みを浮かべながら、海の底深くへ入っていった。

松王丸の心が龍神さんに通じ、その後港は立派に完成した。清盛は朝な夕なに眺めていた淡路島、絵島上に松王丸の思い出を「宝篋印塔」に秘め、心を込めてお祀りされた。

その後生田の森の閘所は、神戸の町の中に大きな森を今に残し、「史跡」として保存されています。

(2005発行・淡路町誌参考)



大和島

天離る 蝦夷の長道ゆ 恋ひ来れば
明石の門より 大和島見ゆ

柿本人麻呂 (万葉集)

絵島から国道沿いに東へ250m、周囲180m、高さ25mの小島ですが、地元の人達から「大絵島」と呼ばれています。この島は断層を主にした六甲山運動によって造られた淡路島北部の山系の一端として、花崗岩塊の上に堆積した神戸層が隆起露出したものである。

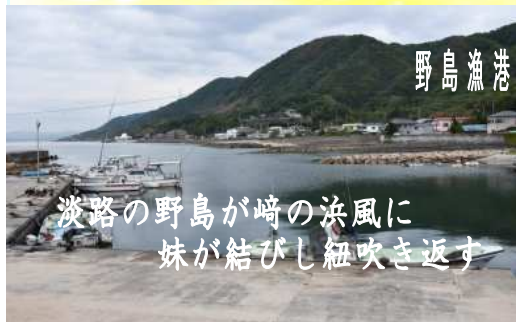
隣接する水無瀬山とともに、貝の化石を含んだ砂岩・砂礫の地層が幾重にも重なって美しい縞模様を見せている。島の外側は切り立った崖になっていて、頂上には兵庫県の天然記念物指定を受けているイブキ群落や、柏、松、姥目樫が繁茂している。周辺には温泉が湧出し、岩屋温泉会館として営業していた。ラドンを主とする放射能泉はリュウマチや動脈硬化症・高血圧症に効果があると好評であった。現在は岩屋海水浴場となり、元温泉会館周辺は釣り人達の駐車場や公園になり、ここからの明石大橋の夜景がとっても美しいです。

(2005発行・淡路町誌参考)

(応援隊：岡 まさよ・竹代 結)

島はなくても野島に富島

万葉の時代から和歌に親しまれる



野島漁港

淡路の野島が崎の浜風に
妹が結びし紐吹き返す

朝なぎに楳の音き聞こゆ
みけつ国 野島の海女の 舟にしあるらし
山部 赤人



富島漁港

旧北淡町には海に浮かぶ島はなく、地名では野島、富島と島がつく場所が2か所あります。野島をうたった詩歌が万葉集に残されています。

野島が崎公園に入ると、「淡路の野島が崎の浜風に妹が結びし紐吹きかへす（万葉集巻3 柿本人麻呂）」の和歌が表示され、古からの地名で野島にあったといわれる「野島が崎」は、万葉の時代に瀬戸内海を行き来する船が立ち寄ったと知られています。その当時、ここは「野島の海人」と呼ばれた人々が漁業や塩づくりなど海を中心に生活し、御食つ国の海人として大和朝廷と密接な関わりを持っていたようです。近くには野島漁港があり、突堤が上がると長い野島の海岸線を見ることができ、当時の面影を偲ぶことができます。

同じく万葉集にうたわれている、「朝なぎに楳の音き聞こゆみけつ国野島の海女の舟にしあるらし」の和歌からも、漁師が沖へ出て魚や貝を捕獲採取し、特に海女はよく働くので栄養素の高い飯蛸（いいだこ）を食べていたようです。明石海峡の飯蛸取りは、潮の流れが激しいため家族で漁に行き、明石まで売りに行っていたと思われます。

明石や神戸へ行くのには、舟の便だけしかなく、それも今のような船ではなく、船が風にのらないと前に進めないための港で、風待ち（潮待ち）をしていました。特に東西の風が強い時は、明石海峡が乗り切りがたいので、富島や野島などで風待ちが必要でした。そのため、富島や野島の海浜に堤防を築き、船の停泊する入江も作りしました。富島の前は築江（つくえ）と呼んでいましたが、後に机の字をあてるようになったようです。その後、明治22年4月1日石田村と机浦が合併して富島村となりました。旧北淡町には島はありませんが、瀬戸内海には小さな小島が見え、野島江崎には国の重要文化財の江碕灯台もあり、とてもよい故郷です。

（応援隊：廣岡 ひろ子）



野島が崎公園

野島



富島



富島の碑

シェアホースアイランド



えさやり体験



乗馬体験

島は島でも、“シェアホースアイランド”という名前の牧場を見つけました。洲本市五色町都志の少し小高いところにあり、瀬戸内海を望むことができる自然豊かな場所でユニークな活動を展開しています。

シェアホースアイランドは、2016年に観光牧場として1頭の保護馬を飼うことから始まった小さな牧場です。ここでは馬とのふれあい体験や乗馬体験、農耕馬と一緒に農作業、馬場BARや一番人気のホースボードなど、馬とのくらしをシェアできるとても贅沢な時間を満喫することができます。

代表の山下勉さんは、2013年に洲本市地域おこし協力隊として淡路島に移住しました。ホースセラピーで馬と出会った後、同市在住の獣医師と知り合ったことが大きなきっかけとなり、現在の牧場を始めることに。馬は乗るものだけでなく、パートナーとして共に生きるというコンセプトの元、保護した馬との多様な関わりを提供しています。

この牧場にいるのは温厚ふーちゃん（風月10歳）と、ツンデレあーちゃん（アネロワ8歳）の2頭。どちらも山下ファミリーの一員です。ふーちゃんは食いしん坊で力持ち。小学校に通う勉さんの娘さんをお迎えに行く担当です。あーちゃんは元競走馬で美しいたてがみが印象的。女優さんの写真集にも出演しました。馬とのふれあいが初めての方でも、馬の気持ちがわかる勉さんと、人の気持ちがわかる馬たちがいる牧場なら安心して楽しむことができそうです。

また、シェアホースアイランドでは、活動や馬の世話を手伝っていただける体力のある会員さんを募集中とのことです。（応援隊：瀬戸 由美子）



風月

ファミリー

ウェディング

清掃活動

【代表】山下 勉
【所在地】洲本市五色町都志
（詳細住所はセキュリティの都合上控えています。）
【TEL】090-5136-7709
8:00~20:00
<https://share-horse.com/>





淡路文化会館からのお知らせ

日ごろ、淡路地域において活動されている、音楽サークル、ダンスサークル、スポーツ健康サークル、パソコンサークル、文化サークル等のみなさん！

○音楽サークルをしているんだけど、自宅だと周囲の騒音が気になって活動できない。

○自宅で個人練習はできても、みんなでダンスを合わせる、広い場所が欲しい。

○サークルのチラシを作りたいんだと、プリンターやコピー機だとコストが…。

○淡路の祭りについて調べたいんだけど、何か参考になる資料がないかなあ。

淡路生活創造活動グループに登録 そんなお悩みまとめて解決します！

こんなことでお困りではありませんか？

- ① 淡路文化会館内の「淡路生活創造情報プラザ」が無料で使用できます。
 - ・パフォーマンススペース(128㎡)
 - ・多目的スペース(95㎡)
 - ・スペース101(33㎡)等々
- ② 印刷機が5000枚/月までなら無料で使用できます。(※用紙はご持参ください)

等々、淡路文化会館の「淡路生活創造情報プラザ」を活動拠点として利用できます。ぜひ、みなさまのグループも、登録しませんか？

【問い合わせ先】

(公財) 兵庫県生きかいい創造協会 淡路文化会館
TEL : 0799-85-1391 FAX : 0799-85-0400



兵庫県淡路県民局からのお知らせ

バーベキューでの食中毒にご注意を！

なかなか観光地へ出かける事が出来ない今、バーベキューを楽しむ方も増えると思います。バーベキューは屋外で食物や器具を利用するため、食中毒への十分な注意が必要です。

バーベキューの注意点チェックリスト10

- 生肉や生魚はそれぞれ別のビニール袋に入れてありますか？
- 冷蔵しないといけない食品を保冷剤で冷やしていますか？
- 食品に触る前に手をしっかり洗いましたか？
- 加熱する食品と加熱しない食品で、別々のまな板や包丁を使用しましたか？
- 生の食品に触れた後にもしっかり手を洗いましたか？
- 生肉や生魚をつかむ箸やトングを別に用意しましたか？
- 肉や魚介類は中心までしっかり火を通しましたか？
- いも類や野菜類は焦げすぎではありませんか？
- 食品と火が直に触れていませんか？
- 残った食品はもったいなくても捨てましたか？

※クーラーボックスに入れ、保冷剤などでしっかり冷やすことも重要です。

食中毒を起こす菌を、

- ・食べ物につけない
- ・増やさない
- ・やっつける

に気をつけて、安全にバーベキューを楽しみましょう！



(一財)淡路島くにうみ協会からのお知らせ

☆俳句入門講座 参加者募集

俳句初心者を対象にした、俳句の基礎知識(定型、季題・季語等)や作り方などを学ぶ講座です。この機会に俳句を始めてみませんか。

- 日 時 第1回7月29日(金) 講義
第2回8月4日(木) 講義
第3回8月18日(木) 句会体験
※いずれも14時~16時
- 会 場 洲本市文化体育館
- 募集対象 島内在住・在勤・在学(高校生以上)の方
- 定 員 各回40名
- 受講料 500円(全3回分)
※受講当日にお支払いいただきます
※1講座、2講座の受講でも同額
- 申込方法 下記までお問い合わせください
※参加には申込みが必要です
※各回の3日前までにお申し込みください

淡路県民局 交流渦潮室
県民・商工労政課(消費者センター)
☎0799-26-3360 ☎0799-24-6934



申込・問い合わせ先:(一財)淡路島くにうみ協会
電話: 0799-24-2001 FAX: 0799-25-2521
Eメール: awajishima@kuniumi.or.jp
ホームページ: https://www.kuniumi.or.jp



ご注意

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベント開催予定が変更されることもありますので、お出かけ前には、主催者にお問い合わせをされますようお願いいたします。

◆淡路市立しづかホール

所 〒656-2132淡路市志筑新島5-4
☎ 0799-62-2001 F0799-62-6465
Mail : info@shizukahall.com
休 火曜日

第13回しづかマルシェ出店者募集

日 10月23日(日) 10:00~16:00
問 しづかホール ホワイエ及び駐車場周辺 [募集ブース]
①屋内(雑貨・お菓子・ネイルアート等) 16ブース
②屋外(飲食・雑貨等) 11ブース
※屋内外共に1団体2ブースまで
[募集期間]7月1日(金)~8月21日(日)
※受付は先着順となります。

しづかアイランド音楽祭

日 10月23日(日) 開演13:00 (開場12:30)
[応募資格]音楽演奏・歌唱等の初心者を含む、しづかホールの舞台に立ちたい方。出演者の中に淡路島在住、勤務または淡路島出身者が1名以上含まれること。
[応募方法]8月31日(水)までに、当日演奏(歌唱)予定の2曲を収録したメディアを郵送または持参ください。
※詳しくはしづかホールのホームページをご覧ください。
問 淡路市立しづかホール
☎0799-62-2001
MAIL: info@shizukahall.com
HP : http://shizukahall.com/

— イベント情報 —

樋口季一郎「国生の塾」開講

【テーマ】「ユダヤ難民を救った人々」
【内容】 シンポジウム方式
日 令和4年7月24日(日)
13:30~16:30
会 南あわじ市中央公民館・講義室
【定員】30名
料 1,000円(講師謝礼等)
【主催】国生の塾(樋口季一郎研究会)
出 出田勇亀一(いでたゆきいち)
0799-55-1111、090-1157-2991

◆南あわじ市滝川記念美術館 玉青館

**令和4年度 松帆銅鐸夏季特別展
「奇跡の松帆銅鐸展~砂山からの軌跡~」**

平成27年に南あわじ市の工場の砂山から発見された松帆銅鐸。すべての調査が完了し、全7点を初公開します。また、兵庫県の銅鐸の魅力を展示紹介する「兵庫五国の銅鐸2」もあわせて開催いたします。

日 7月3日(水)~9月11日(日)

料 入館料

大人500円、高大生300円、小中生150円

※小中生は「ココロカード」又は「のびのびバスポート」利用可で入館無料

時 9:00~17:00(入館は16:30まで)

休 月曜休館(月曜日が祝日の場合は翌日)

問 詳しくは玉青館まで

☎0799-36-2314



◆洲本市民交流センター

所 〒656-0054 洲本市宇原1788-1
☎ 0799-24-4450 F0799-24-4452
休 月曜日休館 時 9:00~21:00

花の絵ファンタジック水彩画展

色々な種類の花を水彩絵の具でにじみの魅力を活かして描き楽しんでいます。

日 7月3日(日)9:00~7月30日(土)12:00

会 アールギャルリー

料 鑑覧無料

問 洲本市民交流センター

☎0799-24-4450

**淡路島の挑戦者たち
~未来のメッセージ~**

淡路島で生まれ育ち、淡路島を拠点に、日本のみならず世界で活躍する3名の芸術家を招いてのトークイベントです。

日 令和4年7月24日(日) 開場13:00
開演13:30

会 S BRICK 洲本市塩屋1-1-8

料 1,000円(オンライン参加のみ500円)

問 ミラクルシードプロジェクト(元木)

E-mail : kokone.hatsuga@gmail.com

☎090-8652-7901

◆淡路人形座公演案内

所 656-0501 南あわじ市福良甲1528-1地先
☎ 0799-52-0260 F0799-52-3072
Mail : awajiningyo@gmail.com

定時公演

**淡路人形をまるごと(ボックス
ステージ・神事・人形浄瑠璃)
を体感しよう!**

〇1日(金)~5日(火)から隔週

「ボックスステージ」「人形浄瑠璃」・「生写神楽日記 大井川の段」

時 10:00~、15:00~

「戎舞」・「人形浄瑠璃」・「伊勢良恋緋鹿子 火の見櫓の段」

時 11:10~、13:30~

〇7日(木)~12日(火)から隔週

「ボックスステージ」・「人形浄瑠璃」・「戎舞」

時 10:00~、15:00~

「戎舞」・「人形解説」・「伊達娘恋 緋鹿子 火の見櫓の段」

時 11:10~、13:30~

料 大人 1,800円 中高生1,300円

小学生1,000円 幼児 300円

※上演内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

【7月特別公演】

淡路人形座奮闘落語会

日 7月9日(土)開場17:30 (開演18:00)

人形浄瑠璃はじめ古典芸能に造詣の深い桂吉坊さん他、若手・中堅を中心に落語4席のほか、淡路人形座による演目、計5席を上演いたします。(所要時間約120分)

主催：公益社団法人上方落語協会

料 前売り1,500円 当日2,000円(税込/全席自由)

※未就学児の入場はお断りいたします。
前売り券発売日 6月9日(木)

淡路人形座へご来座される
お客様へのお知らせとお願い

国及び自治体の定める新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づいて、感染予防処置を実施しております。お客様にはマスクの着用、手指の消毒、検温の実施等へのご協力をお願い申し上げます。

【臨時公演】

※30名様以上の場合、下記の時間帯で臨時公演も可能です。(15日前までの事前予約が必要です。)

時 9:00、16:00

【7月の休館日】 6日(水)、13日(水)、20日(水)、21日(木)、27日(水)

インフォメーション



ご注意

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベント開催予定が変更されることもありますので、お出かけ前には、主催者にお問い合わせをされますようお願いいたします。

◆兵庫県立淡路夢舞台公苑温室 あわじグリーン館

所 〒656-2306 淡路市夢舞台4
 ☎ 0799-74-1200 ㊟ 0799-74-1201
 時 10:00～18:00 (最終入館は閉館の30分前まで)

サマーガーデン

日本最大級の温室が赤や黄、青の原色カラーの植物を中心としたカラーコーディネートで夏らしいお庭をアレンジ。また、人気の食虫植物の展示も始まります！夏休みにぴったりな家族みんなで楽しめる展示がそろいます。
 日 7月16日(土)～9月4日(日)
 時 10:00～18:00
 料 〈入館料〉大人 750円 高校生以下無料 70歳以上(要証明)370円

◆淡路文化会館

所 〒656-1521 淡路市多賀600
 ☎ 0799-85-1391 ㊟ 0799-85-0400
 時 9:00～17:00 料 観覧無料

今月の美術展示

〔日本画サークル作品展〕

日本画サークルの作品展です。淡路文化会館で開催されている、淡路日本画セミナーで描いた作品を中心に、風景画、人物画など多彩な作品を展示します。
 日 7月4日(月)9:00～7月18日(月) 16:00

◆淡路市立サンシャインホール

所 〒656-2305 淡路市浦148-1
 ☎ 0799-74-0250 ㊟ 0799-74-0256
 時 10:00～18:30
 休 毎週木曜日及び祝日の翌平日

「和太鼓教室」

◇生徒募集中！ ※初回は、無料です。
 太鼓の基礎を身に付け郷土芸能に触れながら、心と体を育むプログラムです。どなたでもお気軽にご参加ください！
 【講師】太鼓演奏者 七海(なみ)先生
 会 淡路市立サンシャインホール
 日 7月の予定 7月11日(月)、25日(月)
 時 17:00～18:30
 料 1回1,500円(初回無料)
 ※継続参加の場合、バチ代等の実費必要



◆洲本市文化体育館

所 656-0021 洲本市塩屋1-1-17
 ☎ 0799-25-3321 ㊟ 0799-25-3325
 休 火曜日(祝日の場合は翌水曜日休館)

十の会 作品展

十の会会員による作品展
 日 7月7日(木)～7月10日(日)
 10:00～17:00 (最終日は16:00迄)
 会 会議室 1A-2.3
 料 無料
 問 十の会/片山光波(代表)
 ☎ 0799-22-6249

佐竹ピアノ/教室発表会

佐竹ピアノ教室の生徒らによるピアノの発表会
 日 7月9日(土) 開場 15:30 開演 16:00
 会 文化ホール『しばえもん座』
 料 無料
 問 佐竹裕子

淡路人形浄瑠璃 後継者団体交流発表会

淡路人形浄瑠璃やそれが伝播した阿波人形浄瑠璃など、淡路に影響を受けた全国の人形浄瑠璃後継者団体等と連携し、人形浄瑠璃の公演、交流をして、後継者の育成を図る。
 日 7月24日(土) 開場 9:30 開演 10:00 終演 16:00
 会 文化ホール「しばえもん座」
 料 無料
 問 (公財)淡路人形協会
 ☎ 0799-42-6060

美術展示室

〔久留米敏仁写真展〕

『あわじ島のけしき』

淡路島の自然風景や人との関わり合いのある風景をテーマに、移り変わるとしている「景色」を自分が感じた視点で撮影しています。少しでも多くの方にご覧いただけたらと思っています。
 日 7月20日(水)9:00～7月31日(日)16:00
 会 美術展示室

編集だより

こんな小さな淡路島の中に、島(アイランド)がある訳ないでしょう…。でも島(しま)のつく名前や地名があります。今月号の記事で知っていた所はありましたか？ 全部ご存知の方は、是非ポケットあわじの応援隊にスカウトします。御連絡下さいね。私達応援隊と一緒に淡路島の「秘密」を探りましょう。
 応援隊：田村 ひろ子

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、月に3,500部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約250ヶ所に無料配布しています。今後も生活情報新聞として、豊かな情報をお届けしたいと思いますので、ご愛読よろしくお願ひします。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。
 なお、バックナンバーを淡路文化会館のホームページに掲載していますので、こちら是非ご覧ください。

(発行)淡路生活創造応援隊 淡路文化会館 淡路文化会館運営協議会
 〒656-1521 淡路市多賀600
 ☎ 0799-85-1391 ㊟ 0799-85-0400
 E-mail : a-pocket@hyogo-ikigai.or.jp
 H P : https://www.awaji-bunkakaikan.jp/

私たちはポケットあわじを応援します。

